

事務事業名	公園等維持管理事業				担当	建設部 都市計画課 維持管理係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市公園条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和34年度～）		
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4. 都市計画費	4. 公園管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	市民の安らぎと憩いの場である公園（92箇所）、公衆便所（118箇所）、駅前広場等（17箇所）、緑地等（9箇所）街路樹等（74路線）における除草、清掃等及び各種施設の補修等を実施している。また、平成27年度から平成31年度において、順次、防犯カメラを設置し、適正な維持管理を行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 公園・街路樹等の除草及び清掃については、主に、シルバー人材センター及び民間業者に委託、公衆便所等については民間業者委託、その他職員による直営維持管理を実施。また、一部公園の除草、清掃等は自治会や愛護会等が維持管理を実施。 平成30年度は、22公園に、67台の防犯カメラを設置した。  31年度計画 平成30年度と同様に維持管理を行う。 平成31年度は、29公園に、67台の防犯カメラを設置する。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	公園・公衆便所等の公共施設の数	箇所	305	306	310	310	310
	イ	公園・公衆便所等の清掃修理発注数	件	145	133	137	120	120
	ウ	防犯カメラ設置済公園数	箇所	4	1	19	22	29
	エ							
	オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 公園、公衆便所、街路樹等の公共施設	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	公園・公衆便所等の公共施設の数	箇所	305	306	310	310	310
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 良好な公共施設の維持、管理を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	公共施設の清掃及び維持管理の数	箇所	305	306	310	310	310
	イ	公園等におけるいたずら被害数	件	54	38	35	25	20
	ウ							
	エ							
	オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	真岡市をきれいなまちと感じる市民の割合	%	79.6	75.9	78.1	80.9	80.0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	95,275	94,688	107,730	117,581	117,600
	事業費計(A)		千円	95,275	94,688	107,730	117,581	117,600
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
		人件費計(B)	千円	10,894	10,798	10,790	10,839	10,839
トータルコスト(A)+(B)		千円	106,169	105,486	118,520	128,420	128,439	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	公園や公衆便所の利用者が、快適に使用できるようにするため開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	公園施設備品等の破損・盗難や迷惑行為等の抑止を目的として、平成27年度から防犯カメラ設置事業に着手した。平成27年度4公園、平成28年度1公園、平成29年度19公園、平成30年度22公園に設置し、いたずら件数が年々減少の傾向にある。平成31年度29公園に設置することとしている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民や区長から施設等（遊具）が老朽化しているため、更新の要望も出ている。また公園及び街路樹の高木については、市民からの落葉・害虫・日陰による苦情が寄せられていることから、清掃及び害虫駆除の件数が増加している。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全で快適な公共施設の維持管理をしているため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市の公共施設であるため、実施するのが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象が全て市の公共施設であるため、特定されている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 公共施設の維持管理であるので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 維持管理ができなくなり、施設が荒廃し、市民利用に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 各施設に対し適切な維持管理をしており、また非営利団体である真岡市シルバー人材センターや自治会、及び愛護会に委託可能な施設は既に委託しているため、削減余地なし。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現在、職員は最少人数で、削減余地なし。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設であるため、全市民が利用しており、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							